

(3) 授業実践（保健領域）

ア 中学年の取組 第3学年 単元名「けんこうな生活」

本単元において、「体を清潔にすることの必要性について考え、自分の生活を見直し、具体的に実践できる生活行動を考える。」ことを目標とした授業実践を行った。

体を清潔にすることの必要性について考えるために、養護助教諭のゲストティーチャーを活用した。目に見えない汚れが体に及ぼす影響などの専門的な知識について、イラストを用いながら分かりやすく児童に説明した。清潔に保つことが、自分たちの健康につながることを科学的に伝えることができた。また、「手洗いチェッカー」という教具を活用して、見えない手洗いの洗い残しを可視化した。一人一人が教具を用いて、汚れが溜まりやすい部分を確認し、黒板に貼られた手の写真にバイ菌シールを貼ることで、児童は自分の手洗いの善し悪しを視覚的に掴むことができていた。その後も洗い残した部分を中心に、何度か手洗いをし直す様子が見られた。



養護助教諭からのお話



洗い残しを確認中の様子

イ 高学年の取組 第6学年 単元名「病気の予防」

本単元において、「生活習慣病の原因を考え、予防するために、自分の生活行動について見直し、具体的に実践できる生活行動を考える。」ことを目標とした授業実践を行った。

養護助教諭と TT の授業を行い、生活習慣病の原因など専門的な部分は養護助教諭が解説を行うという役割分担をすることで、児童も理解を深めることができた。さらに、「適度な運動」「十分な睡眠・休憩」「バランスのとれた食事」のめやすを捉えさせるために児童に万歩計をつけて一日生活してもらったり、児童がよく食べる食品の塩分量を提示したり具体的な数値を提示した。そのことで、自分の今までの生活を振り返ることができた。まとめとして、自分の生活を見直したうえで具体的な生活行動の目標を決めさせた。その際、ロイロノートの活用を行った。「適度な運動」「十分な睡眠・休憩」「バランスのとれた食事」3つの項目を色分けして提示することで、一目でだれが何の項目を改善しようと考えたのかが分かり、行動を改善しようという意識をもつことができた。



養護助教諭との TT の様子



タブレットで自分の目標を書く様子